

タイにおける日系企業 IT状況とJP1活用事例

Material Automation (Thailand) Co.,Ltd.

青木正敏

Managing Director 2008年11月17日

本日の内容について

- Material Automation (Thailand)Co.,Ltd.紹介
- タイ王国経済概況
- タイ国日系企業IT状況について
- JP1活用事例ご紹介
- 総括

Material Automation (Thailand) Co., Ltd.のご紹介

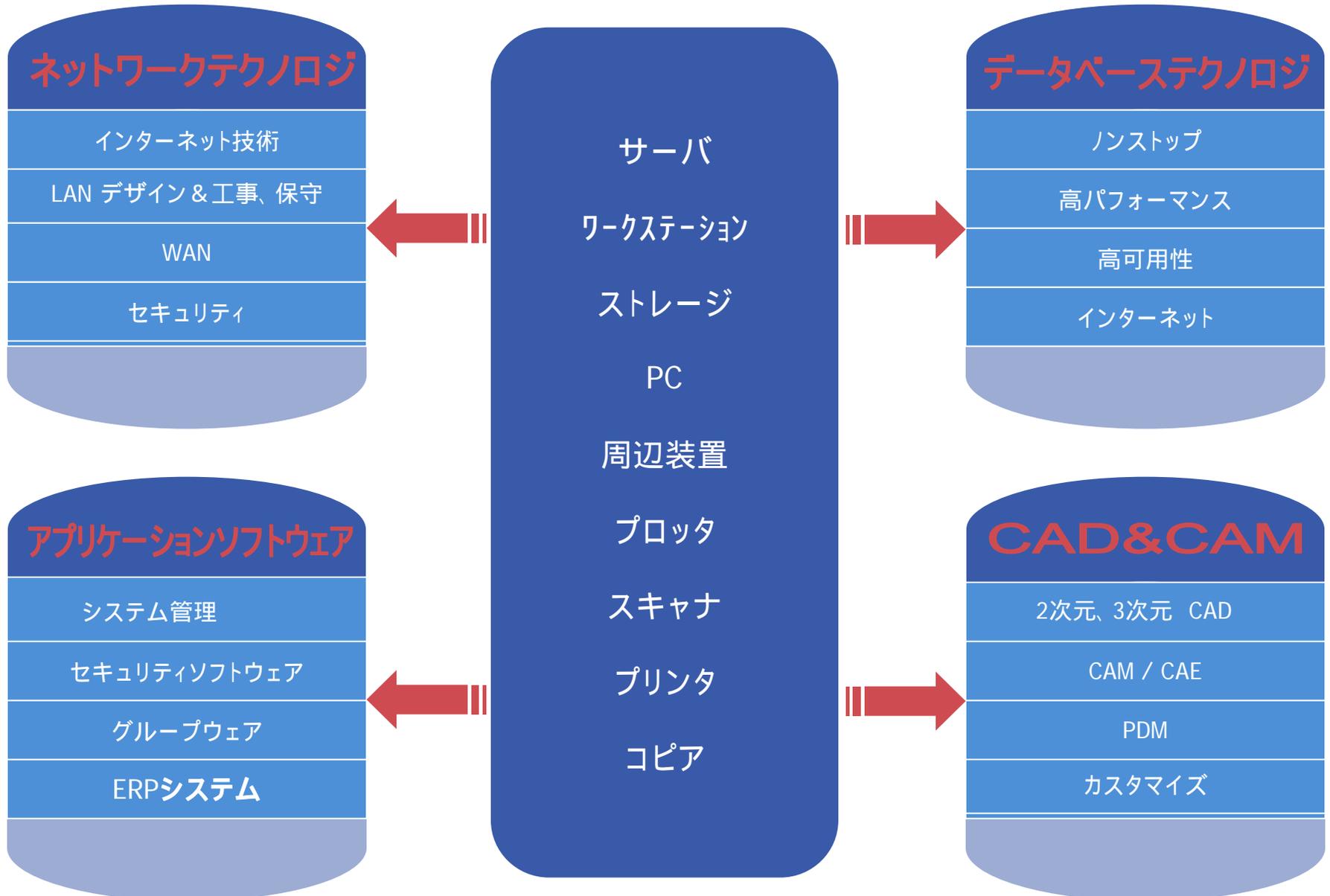
- 設立 1991年 10月Bangkokにて設立し現在に至る。17年の実績
- 目的 タイ、ベトナムに進出してこられた日系製造業の皆様へITソリューションを提供し製造業の皆様の業績発展に貢献する。
- 現在お取引のある顧客数 約 400社 内 日系企業が95%
 - 大手企業様として XXXXX様、XXXX様、XXXX様、XXXX様、XXXX様など長年に亘り取引をいただいております。
 - タイにおける日系独立系のSierとしてはトップクラスの事業規模
- 2006年ベトナムハノイに支社設立。ベトナム市場での販売サービス開始

Material Automation (Thailand) Co., Ltd.のご紹介

- 設立 : 1991年 10月
- 資本金: 3500万バーツ (2008年9月現在)
- 組織:
 - 会長 平川貴士 社長 青木正敏 ベトナム支社長 石川正明
 - 社員数 130名 (内 日本人12名)
 - 売り上げ
 - 2007年 3億8000万バーツ 2008年 4億2000万バーツ予定
- MAT関係会社 タイに4社あり

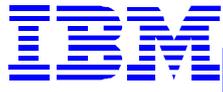
弊社ご紹介のカタログ別途配布させていただいておりますので参照ください。

MATがご提供するコアサービスとは.....



MAT 主要取扱い製品、ソリューション

ハードウェア



Printing for Professionals



ソフトウェア & ソリューション

MATは2000年にJP1ビジネスパートナーとして認定を受け、現在にいたるまで多くの日系企業にJP1導入をさせていただいております。



タイ国経済概要

- 2007年 GDP 8兆4700億バーツ(US\$2,450億)
 - 日本の1/18 の規模 世界ランク 33位
 - 通貨 バーツ 1バーツ=約3.5円(2008年10月現在)
 - GDP 成長率 4.8% (2006年 5.1%) 2008年 3.8% - 5%予測 (下方修正)
- 国民一人当たりGDP US\$3,720
 - 日本の1/9の規模(US\$34,300) 世界ランク 90位 ただしタイは物価が相対的に安いので購買力
価換算すると実質は約US\$7,900になり 日本の1/4に相当
 - 周辺国 Singapore US\$35,200, Malaysia US\$6,950, Indonesia US\$1,920
- 産業構造: 農業中心から工業化が進んでいる。特に日本の製造業の進出
が大きな原動力となった。1980年代後半の円高ドル安以降日系製造業
の進出加速
 - 2007年GDP中農業11%強、輸出 約10% (但し就業者40-50%占める)
 - 2007年製造業GDP35%、輸出 85% (就業者17%)

タイ王国政治経済概況現状

● 政情不安は依然継続

- 現政権(前タクシン首相(イギリスへ亡命中)の流れを汲む)は国王、軍、警察、などの支持なし。 崩壊は時間の問題
- 但し、年内は重要事項が目白押しのため政治的には一時休戦状態。
 - 11月15日からの現国王の姉君の国葬、12月はAPEC 会議の開催。

● 経済見通しはマイナス要素が多く、先行き不安。

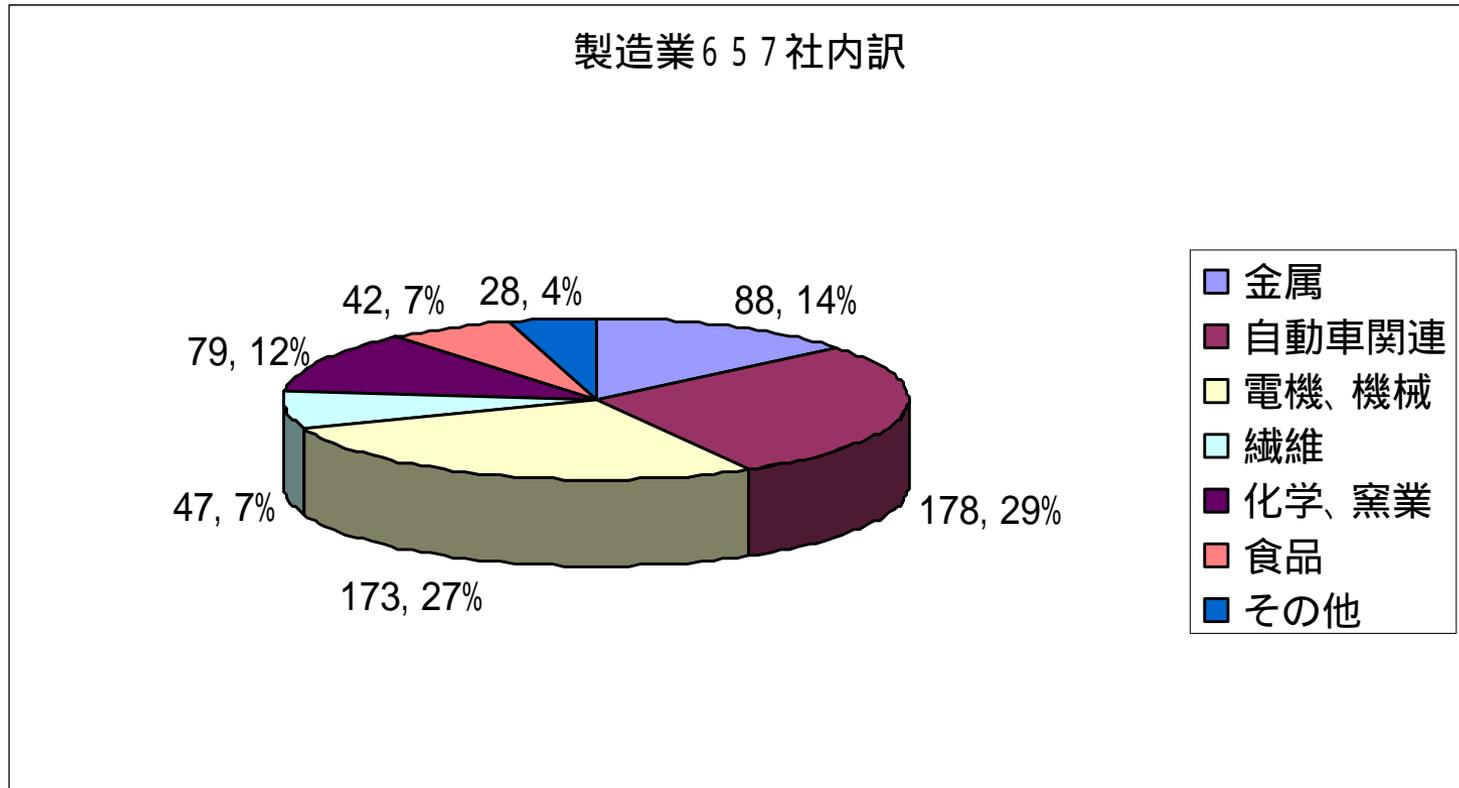
- 最近の世界景気後退の影響 2009年のGDP見通し下方修正
 - 従来 4.5 - 5.5% 3.8% - 5%
 - 外需:輸出成長率鈍化の可能性。
 - 内需:政情不安 対内投資減退、観光収入の減退等

タイにおける日系企業について

- 日系企業数は現在7,000社以上
- バンコク日本人商工会議所 所属企数 1,292社 (2008年4月)
 - 上海に次ぐ世界第二位の会員企業数。
 - 1999年 1,162社 2008年 1,292社 (+130社)
 - 業種別
 - 製造業 657社 50.9%、
 - 商業貿易 213社 16.5%
 - 土木建設 72社 5.6%
 - 航空、運輸 68社 5.3%
 - ホテルレストラン 57社 4.4%
 - 出版、広告 24社 1.9%
 - その他 201社 15.4%
 - 中国にならぶ重要な生産拠点としての役割を担う。

タイにおける日系企業について

- 製造業 657社の内訳



この10年自動車関連企業の進出が著しい(87社 178社 + 91社)
 続いて電気、機械(149 173社 + 24社) 東洋のデトロイトといわれる所以

タイ日本企業IT状況:タイIT環境について

- 業務系システム:
 - 90年後半からクライアントサーバー型が主流
 - Windowベースが標準
- ハードウェアベンダーについて
 - 日系のハードウェアベンダーは強くない。
 - Win系シェアの多くをHP、IBM、DELLで占める。
 - UNIXサーバー系はHP、SUN、IBMで。
 - ストレージ系はHP、IBM、Hitachi、EMCなど。

タイ日本企業IT状況:タイ通信インフラ状況

- 通信インフラは日本に比べ、まだまだ遅れている。
 - 92年から国営通信事業者による民間事業者への事業権の付与
 - 2005年より国家通信委員会による免許制度を実施し、現在120を超える事業者が参入
 - まだ、上記国営通信およびその付与された事業者が支配的シェア
料金、サービスなど自由化がさらに必要。
- 日系通信サービス会社 NTT Com, KDDI, Softbankなどが
日系企業へのICTサービスを展開。
 - 日系企業からすると日本と同系列の会社のサービスを受けられるので安心。多くの日系企業が利用。
 - タイの回線事業者の業務を補完する役割。

タイ日本企業IT状況:タイ SI会社について

- 日系、タイローカル系、欧米系、インド系と選択は豊富
- 日本製造業:日系Sierと取引をする傾向
 - 日本語でのコミュニケーション必要かつ重要
 - 日本と同じ形態で業務を進めやすい。
- タイローカル系
 - 大手で優れたSierも存在し、日系企業も取引している会社多い。
 - 安かろう、悪かろうの仕事も多いので注意必要。
- 欧米系
 - コストは欧米並み
- インド系
 - インド系も存在。コンサルなどインドからつれてきて対応。安くない。

タイ日本企業IT状況について

● 大手企業

- 日本人IT Managerを駐在させ、インフラ整備に積極的に投資
- 日本J-Sox法対応の重要性も認識し、対応。
- ただし、その企業数、それほど多くない。

● 中小企業

- 専門のIT Manager置かない。社長、製造部長、経理部長などが兼任。
- IT投資について、まずは儲かってから！！
- 生産管理などはExcelでこなしている。経理、会計、安価なLocalPackageで対応
- 日本J-Sox対応の重要性認識するも、優先順位は高くない。
 - 日本からの要請、命令がなければ腰があがらない。

タイ日本企業IT状況:多くの日系企業の悩み

従業員によるIT資産の不正使用。

- 勝手にコピーソフトを会社のPCなどにInstall
 - タイはソフトコピー天国 コピーライセンス使用率80%(2006年)どこでも手に入る
- 禁止されているサイトへのアクセス 業務効率の低下、PCウィルスの蔓延
- 従業員の意識の低さ。

IT要員ジョブホッピング頻繁

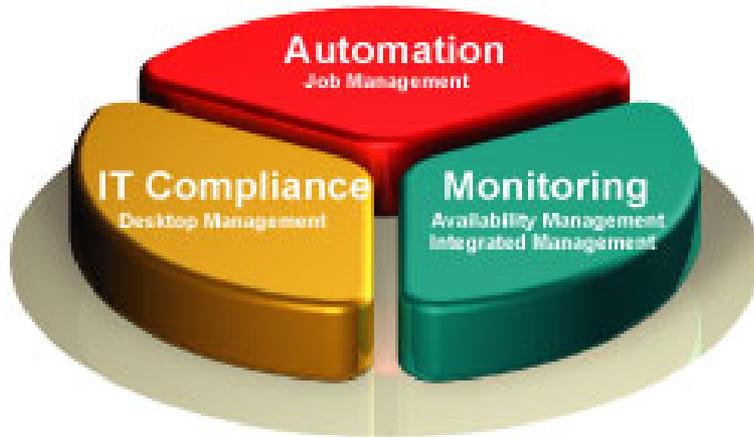
- 管理者不足。
- いい人材慢性的に供給不足
- 人件費コストUp

MATのJP1への取り組み

- 2000年よりタイにおける販売を開始
 - 2006年からはベトナムにおいても販売開始
- **導入実績**
 - 現在まで約xx社
 - **大手企業**: XXXX、XXXX、XXXX、XXXX、XXXX、etc.
 - **総ライセンス数** XXXXX **ライセンス**
- **事例紹介 2例**

タイにおけるJP1製品体系別導入実績(08年10月時点)

JP1の製品体系



JP1導入実績

コンセプトカテゴリ	管理カテゴリ	ライセンス数
モニタリング	統合管理	X
	アベイラビリティ管理	Xx
オートメーション	ジョブ管理	Xx
ITコンプライアンス	資産・配布管理	Xxxxx

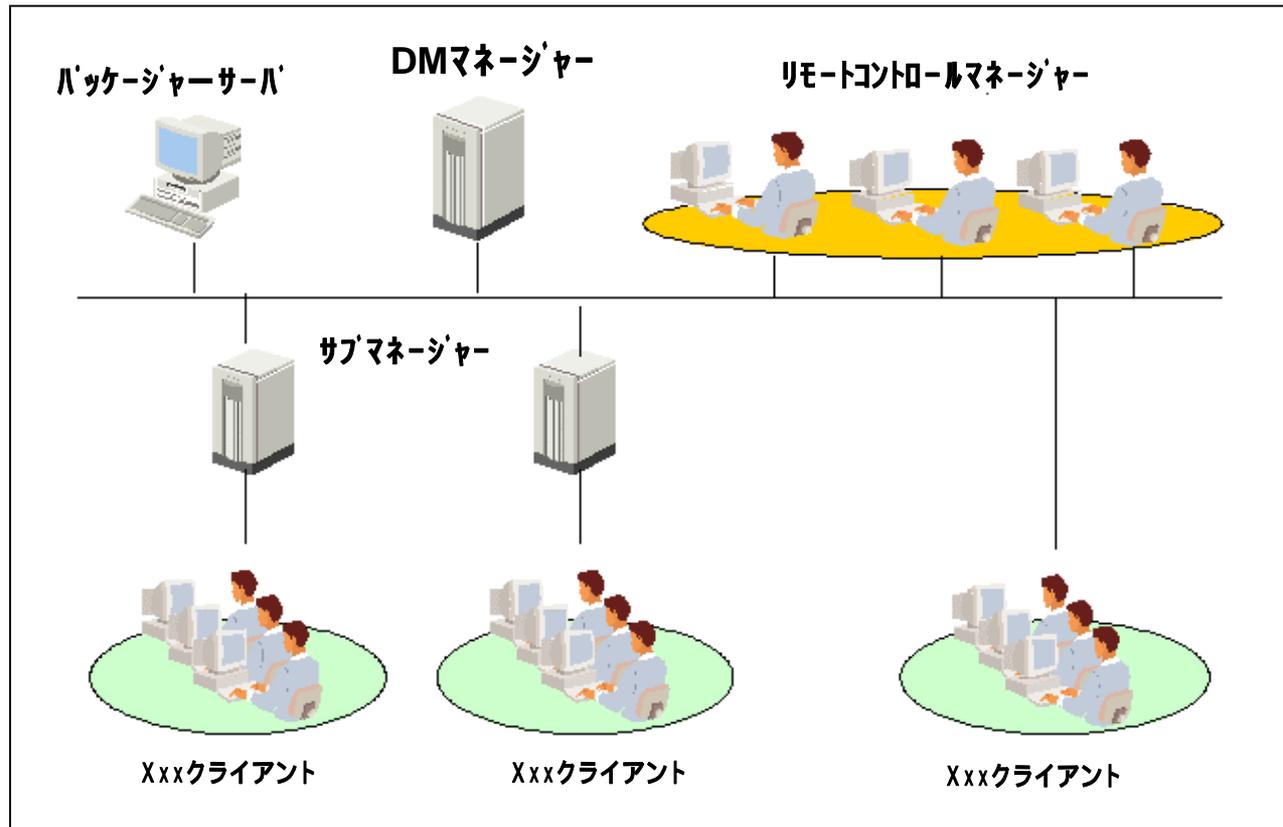
事例紹介(1) 大手OA機器メーカー のケース

- 日本を代表するOA機器メーカー(タイは1990年より、ベトナムは2003年から製造開始。)
- タイ、ベトナムの製造拠点あり。
 組織: 日本人IT Manager x名、日本人担当者x名、現地スタッフxx名
- 導入理由
 - IT資産の管理がハンドでは不可能なレベルになってきたこと。
 - ハードだけでなく使用されているソフトの管理
 - 不正使用の防止
 - 2008年よりのJ-Sox法導入に対応するため
- 実績(タイ)
 - 2004年 DM xxxライセンス
 - 2006年 PFM xxxライセンス
 - 2007年 DM xxxライセンス追加 & AIM 設置
 - 2008年 AJS 設置

事例紹介(1) - JP1導入STEP

- 2004年 JP1/NETM/DM XXXX License (海外での製品名称はJP1/SD)

ネットワークを利用して、ソフトウェアの配布やクライアントの資産管理を実現。
クライアント管理の自動化・省力化を図る。

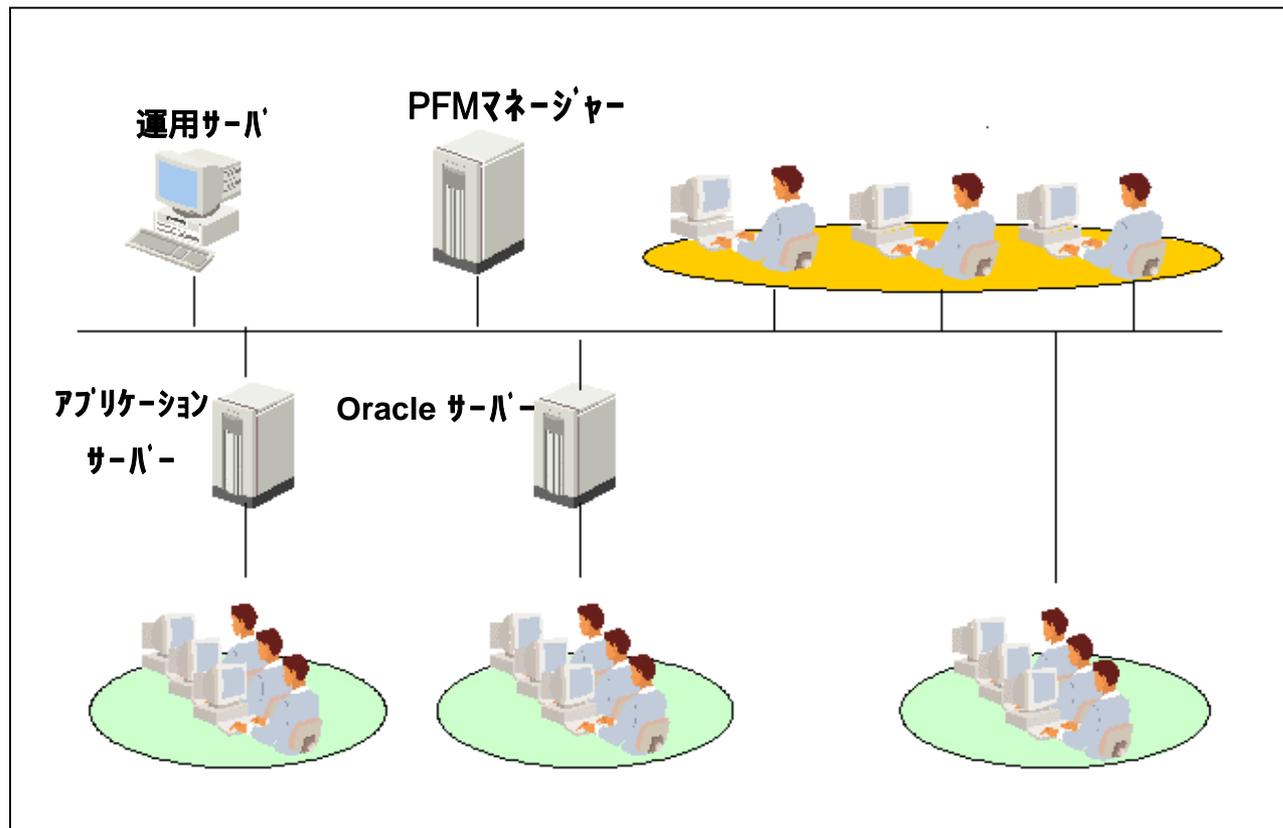


C社

事例紹介(1) - JP1導入STEP

➤ 2006年 JP1/Performance Management

システムを構成するデータベースやアプリケーションなどの稼働状況を監視し、システムが危険域達したときに事前にシステム管理者に通知することで、業務に影響が出る前に障害を回避。また、稼働状況を中長期的な視点で分析するためのデータを効率良く収集。

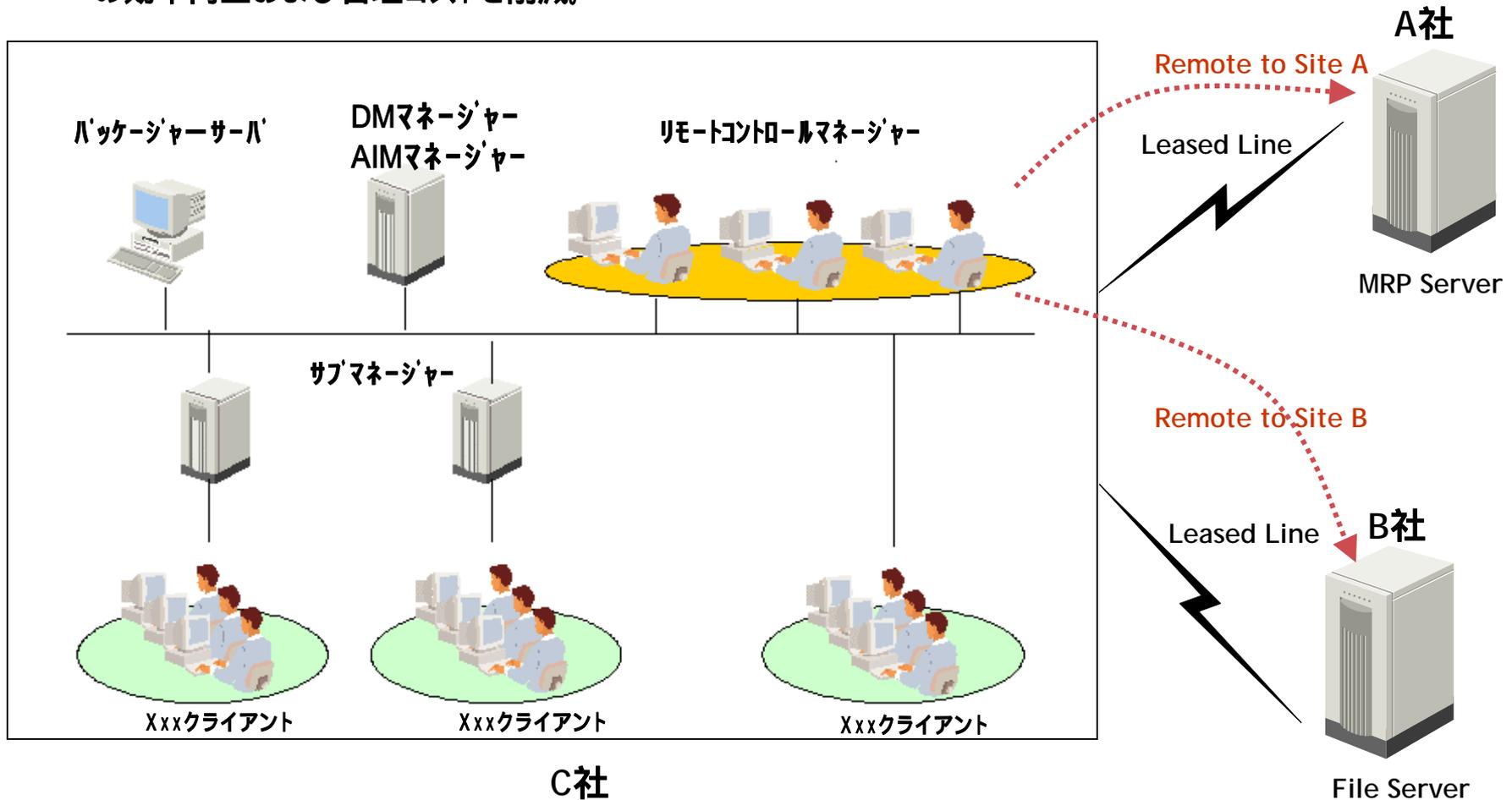


X社

事例紹介(1) - JP1導入STEP

➤ 2007年 JP1/NETM/Asset Information Manager (海外での製品名称はJP1/AIM)

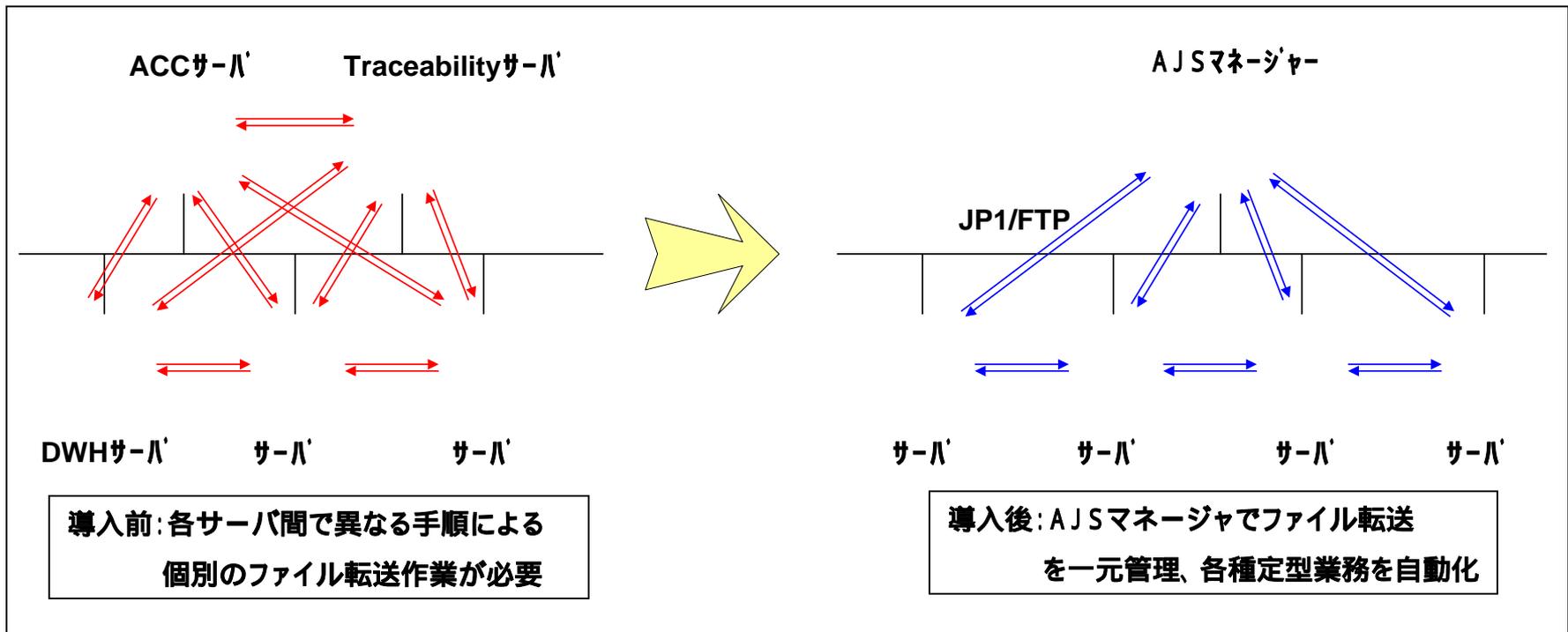
複数拠点にまたがる、ネットワーク機器を含めたハードウェア資産情報,ソフトウェア資産情報,保守契約情報など、あらゆるIT資産の情報をデータベースで一元化し、一括して管理。資産管理業務の効率向上および管理コストを削減。



事例紹介(1) - JP1導入STEP (導入作業中)

- 2008年 JP1/Automatic Job Management System 2
JP1/File Transmission Server/FTP

定型的・定期的で複雑な業務を自動化。また、運用管理機能を備えたファイル伝送プログラムと連携し、ネットワーク上に分散する複数サーバ間の、ファイル伝送業務の履歴表示や、各種定義情報を一元管理。



事例紹介(2) 大手空調設備メーカー のケース

- 30年以上前からタイに進出し、早くから日本企業の産業空調設備を手がけ、現在はタイ国内に7ヶ所のオフィスと3ヶ所のグループ企業がある。

【導入理由】

- IT管理者が不足しており、ハードウェアの資産管理ができていない。
- 正規ソフトウェアのライセンス数を把握しておらず、不正コピーソフトウェアの使用が見受けられた。

【導入実績】

- 2008年 DM / AIM 各xxxライセンス

【導入効果】

- ハードウェアの資産情報を少ない工数で効率よく管理でき、無駄な資産を減らすとともに、必要最低限の機器更新で済むようになった。
- ライセンス数の過不足を随時確認でき、ライセンスの不正使用を防ぐことができるようになった。また、ソフトウェアの使用制限により業務の効率化が図られた。

プレゼンの終わりにあたり

タイ、ベトナムは今後さらに製造拠点としての重要性が高まることはあっても、下がることはない。

- IT資産管理やITの不正使用コントロールは多くの日系企業が抱える問題
- J-SOX法への対応：海外だからまあいいかは今後通用しなくなる。

今からインフラ整備に注力をしていく必要。

- タイ、ベトナムにおいても、JP1を活用して上記の問題に対応可能です。

タイ、ベトナムで案件がありましたら、日立様、もしくは弊社までご連絡ください。

- ご清聴ありがとうございました。